

冬春用花壇づくり

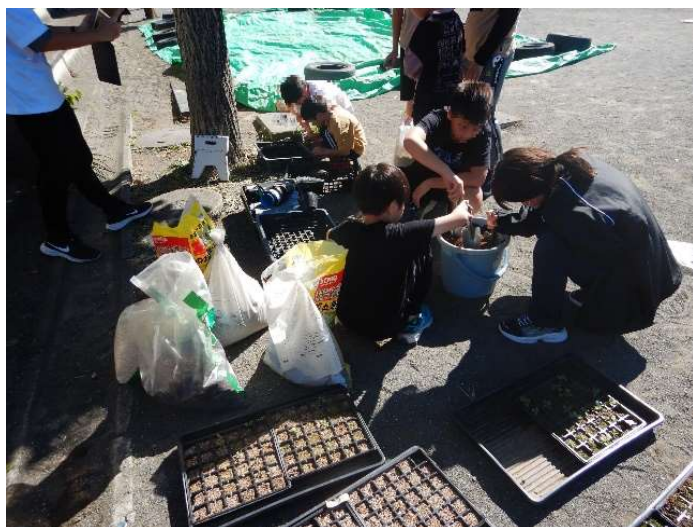
半年ごとに行っている花壇やプランター用の花苗づくりや植え付けは東俣野小学校の児童たちに手伝ってもらっており、今回で3度目になりました。

11月中旬に植付けを行う計画を立て、逆算すると9月初旬には種蒔きを行う必要があります。しかし、今年は猛暑で、9月になっても一向に気温が下がる気配がありません。一方で、5月に植え付けた夏秋用の花苗は、やはり猛暑のために11月まで元気でいてくれるか心配になります。そこで、9月の中旬に種を蒔きました。



3回目の種蒔きなので、前回の作業をすぐに思い出し、児童たちは簡単な説明を受けただけで作業に取り掛かりました。今回育てるアリッサム、パンジー、ビオラの種を各自が分担して種蒔き用トレーに用土を敷き、割りばしで穴を開けて蒔きました。その後の灌水も、いきなりジョウロで勢い良く撒くと種が飛び出してしまうので、そーっと撒いていました。

種蒔きトレーに蒔いた種も発芽し、本葉が4枚くらいになった10月中旬に12cmポットに植え替えました。作業は校庭の一角で行いましたが、この時も簡単な説明で植替えは開始できました。トレーから押し出した花苗をポットへ植え替える作業は意外に難航しましたが、無事に終わることができました。



育ったポット苗を花壇の前に並べ、児童たちが作った計画に沿って植えました。



出来上がった花壇は、隙間だらけで見栄えは今ひとつに見えますが、苗の成長余地を考えた良い配置だと思います。

